



吸葛(すいかずら)
花言葉…愛の絆・友愛など

「水を吸う葛」の意から「吸葛」となった。また、昔は、花の奥の方にある蜜(みつ)を子どもが吸って遊んだことから「吸葛」となった、との説もある。花の色は、白から黄に変化していく。このことから中国では「金銀花」と呼ばれる。「忍冬」とも書く。また、「忍冬」の字のごとく、「にんどう」と呼ばれることもある。

花のお便り

2013.5 No.83
E-mail : info@miyazaki-p.co.jp
http : //www.miyazaki-p.co.jp/

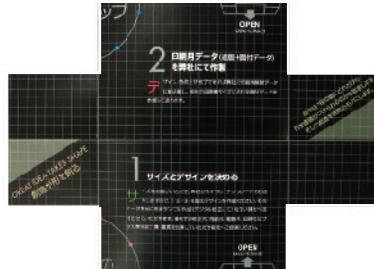
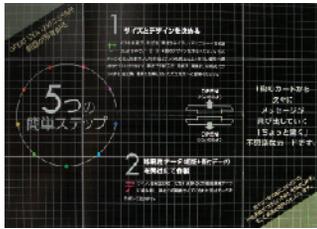
〒157-0062 東京都世田谷区南烏山5-33-2
TEL. 03-5384-1331・FAX. 03-3305-2528

4月の日曜日に地元のグループで奥多摩に出かけた。あいにくの冷たい雨模様だったが、朝獲りのタケノコ、農産物を買ひ、おいしい釜飯しをいただき大満足。奥多摩湖で散りかけの桜を観て、山梨の丹波村の道の駅へ向かう。標高が上がると共に夜半から降った季節はずれの雪に山肌は真白な雪化粧の景色を楽しむ。一方、都心に眼を向けると株高に沸くが、こちらの方は高くなる程に不安な景色が見え隠れする。



折り加工の可能性

まるで手品を見ているような折り加工。一枚の用紙をたくみに使い、切り込み・折りを組合せ、変幻自在の形を造りあげる。より多くの情報の提供と共に、開くことへの興味をそそり大人も子どもも思わず引き込まれてしまう。名刺・ダイレクトメール・グリーティングカード、会社案内・製品説明・イベント告知・学校案内など、使用用途は幅広く利用できる。



宣伝を考える ポスター編2

キャッチコピーの注意点としては、想像をかき立て買ってみたくなる、行ってみたくなる言葉が必要となり、文字の大小や書体でメリハリをつけることが大切となる。ポスターも近頃は、1~2部のオンデマンド印刷に人気があり、多部数の印刷は、団体とか支店などを持つ会社、あるいは自治体に限られる。窓や壁に比較的長い期間掲示するポスターの場合は、塩ビ素材に印刷し、表面にPP加工を施すが、太陽光や風雨にも10年以上は充分耐えられる。さらに、選挙用ポスターに代表されるユポ用紙は、耐光インキで印刷すれば、相当な期間色褪せもなく掲示が可能だ。このように、ポスターは用途により材質や印刷手法の選定で、様々な活用方法ができる。当社は、塩ビ素材で小部数のポスターを度々依頼されるが、会社や商店の屋根や壁などに看板として使用する注文もある。線路際の建物に、10mもある看板を、電車の乗客に見せるため取り付けられたことがあった。取り付けはプロに依頼し設置したが、効果は絶大で、しかも効果が持続した広告物だった。

気まぐれエッセイ

チリンチリンおばさんが見えない

自転車のカゴに荷物をいっぱい詰め込み、背中を異常なまでにかがませる姿は、田舎でよく見た野良仕事で背中が曲がったおばあさんを連想させる。朝早くから夜遅くまで自転車を押し、地域のあっちこっちに毎日出没する。原色の衣服をまとい帽子をかぶり、前かがみで歩き、時として立ち止まり、自転車のベルをチリンチリンと鳴らす。滑稽な姿との思いは失礼だが、そのベル音はどこか哀愁を誘う。それがいつの日からか乳母車に変わり、自転車のベルを手に持ち、チリンチリンとやるよう

になった。噂では自転車が盗難にあったと聞く。これも噂話しではあるが、チリンチリンおばさんが、毎日毎日町中を徘徊するのは、最愛の息子を亡くしたことに端を発したらしい。そのおばさんが、私の記憶ではこの一ヶ月ほどお目にかかれていない。病に伏しているのではとの想像をしてみようが、チリンチリンおばさんの元気な姿に早く会いたい。蛇足になるが、小生は以前に一度だけ、おばさんがスクッと直立した姿を見たことがある。